

研修名 乳児保育・教育

平成30年11月26日(月) 13:30~16:00

講演 「ていねいなまなざしでみる乳児保育」

講師 東京家政大学 井桁 容子 氏

1 講演要旨

- 保育者である以前に子どもの傍らに寄り添う事が大切である
- 子どもの発達過程をしっかりと確認する
- 6領域から5領域へ保育所保育指針改定
- 新保育指針改定では養護が重要となる
- 共感する保育を心がけ思考力の芽生えを大切にする
- 乳児期での活動ひとつひとつが子どもの表現になり見守り共感する
- 保育者は保護者に対しても信頼される事を心がける

2 感想

今回、ていねいなまなざしでみる乳児保育の講演を聞く事ができ保育者である前に、子どもの傍らにいる一人の人間として、子どもの思いに寄り添えられているのかと自分を振り返る事ができました。子どもの興味のある事により、表現する事の楽しさや、学びへの意欲へと繋がってゆく大切な時期と一緒に共感し、楽しむ事の大切さをより一層、感じました。

子どもひとりひとりを大切に、その時間を大事に過ごしたいと思います。

「みんなと同じじゃなくてもいい。失敗してもいい、そうしながら育つ」の言葉はすごく心に感じるものがありました。これからもがんばってゆきたいと思います。

(記録 笠置町立笠置保育所 石田 礼美)

